

中学校 教科書選定理由（国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	国語	015-72	現代の国語 1
			015-82	現代の国語 2
			015-92	現代の国語 3

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	国語
-----	------------	----

3. 教科書選定理由

中学校国語教科書の採択にあたり、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の各社の教科書を比較、検討した。学習指導要領の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各学習活動を「主体的・対話的で深い学び」によって行うことに、各社とも工夫をこらしている。

三省堂の教科書は、「読み方を学ぼう」や「思考の方法」など、「読み方」や「思考の方法」をわかりやすく視覚的に示している点が高く評価された。さらに、『「問うこと」から始めよう』として、問いをもって文章を読むことを重視している。教材文を読んで問いを持つこと、問いを持ちつつ教材文を読むことは、本校国語科が育成を目指す力とも重なるものである。

各社とも読み応えのある教材を採録している。教材を「読むこと」を中心に据えつつ、豊かな学習活動を展開することができる。中1「少年の日の思い出」（ヘルマン・ヘッセ）、中2「走れメロス」（太宰治）、中3「故郷」（魯迅）、中1「竹取物語」、中2「平家物語」など現古ともに定番教材は各社とも採録している。三省堂は中1に「空中ブランコ乗りのキキ」（別役実）が採録されている点が高評価された。自分の存在の価値をどこに見いだすかという問題を考えさせる文学教材である。中1に是非読ませたい教材である。

東京書籍は「地球環境」「平和・国際理解」など「未来を考えるための9つのテーマ」を設定し、教材を配している。現代社会と未来社会について考えを深めるためにテーマを整理している点が高評価された。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する学習活動については、各社とも力を入れている。「スピーチ」「ブックトーク」「読書感想文の書き方」などである。この点では各社の優劣はつけがたかった。

以上の検討をふまえて、三省堂の教科書が、特に思考力、読み方の育成に力を入れている点で評価され、採用するにいたった。

中学校 教科書選定理由（書写）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	書写	015-72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	国語・書写
-----	------------	-------

3. 教科書選定理由

<p>教科書採択にあたり三省堂、東京書籍、光村図書各社の教科書を比較、検討した。</p> <p>学習の進め方においては各社とも書き方のポイントを意識し、毛筆で書いて確かめ、硬筆に生かしていくという流れで、学びの定着を図る構成となっている。また、文字文化にふれる内容や国語教科書と関連した教材も取り上げており、各社書写技能を単純に修得することだけではなく、自分の字をよりよくし文字文化への認識を深め、日常生活・社会生活に生きる力を主体的に学習できるよう工夫がされている。</p> <p>そして各社、他社とは異なる以下のような特徴的な工夫をされていると見受けられた。</p> <p>東京書籍は、行書において形だけでなく動きにも着目して学ぶことができる。</p> <p>光村図書は硬筆の練習の分量が最も多く、同じ形のある字を集め練習できるようになっている。また、多くの毛筆の教材手本が見開き1ページで半紙と同じ大きさで示されている。</p> <p>三省堂は、学習の流れが見開き1ページで見通せ、毛筆教材は筆圧を意識し行書におけるの柔らかさがよく分かる。</p> <p>各社とも優れているが、本校の書写の学習は国語科の限られた時間の学習であるため、硬筆の文字を細かく取り上げて学習することが難しく、毛筆教材におけるポイントの確認のしやすさ、毛筆教材の中で多くの学びを積み重ねて硬筆で確認できるものを考えた。</p> <p>書き方のポイントは各社、色づけなどされて示されているが、三省堂がひととき大きく図も用い示されていてわかりやすい。</p> <p>基本点画を確認する単元においては、東京書籍と三省堂が「字形の整え方」を毛筆教材で学習できる。光村図書は、教材文字は三省堂と同じであるが「字形の整え方」については毛筆教材では示されておらず、硬筆教材で確認する形になっている。学びを積み重ねていくために、字形の整え方も意識出来る教材を取り組ませたい。その点で「文字の大きさと配列」という単元で「点画の上下・左右の組み立て」「点画の方向」「点画の長さ」までも意識しながら書く字が含まれた俳句を教材にしているのは、東京書籍と三省堂である。</p> <p>行書においては、各社どの教材文字も「字形の整え方」を意識出来る字となっている。行書の書き方のポイントにおいては、「点画の方向の変化」を取り上げているのは三省堂のみである。各社、二次元コードには豊富なデジタルコンテンツを掲載しており左利きの生徒のための動画は光村図書と三省堂にある。左利きの基本的な筆の運びの動画があるのは三省堂のみである。同じ単元数の中でポイントがしっかり確認でき毛筆教材の中で多くの学びを積み重ね、硬筆で定着につながるものとして三省堂を採択するとした。</p>
--

中学校 教科書選定理由（社会・地理）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地理	046-72	

社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第1・2学年	社会・地理
-----	--------	-------

3. 教科書選定理由

以下のように比較検討した結果、帝国書院の教科書を採択する。

帝国書院「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述が詳細である。

統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけを充実させることができる。章末の構成が復習に活用しやすい。

東京書籍「新編 新しい社会 地理」

世界や日本の諸地域について、地域的特色に関心を持たせるような写真、トピック、および本文記述が多い。

統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけが可能である。

教育出版「中学社会 地理 地域に学ぶ」

世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述がかなり詳細である。

統計やグラフについては、高校の教科書や中学地図帳との関連づけがある程度可能である。

日本文教出版「中学社会 地理的分野」

世界や日本の諸地域について、地域的特色の記述が詳細である。

統計やグラフが充実しており、高校の教科書や中学地図帳との関連づけが強い。

中学校 教科書選定理由（社会・歴史）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	歴史	046-72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第1・2・3学年	社会・歴史
-----	----------	-------

3. 教科書選定理由

東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、育鵬社の6冊を検討した。内容の検討から、来年度も、帝国書院を採用することにした。

その理由としては、第1に、時代ごとに「タイムトラベル」という名称の大きな図版が掲載されていることである。現行の学習指導要領においては、時代ごとの学習の最初に「時代の導入」、最後に「時代を大観」させることになっている。各時代への興味付けをし、学習課題を意識化させた上で、各時代の政治・経済・社会・文化の知識を習得させ、そののちにその知識を活用して各時代の特色を自分の言葉で的確に表現させる学習を行うようになった。その際に見開き2ページ近くの図版は大いに有効である。また、各時代の「タイムトラベル」を比較・分類・関連付けさせることによって、「時代の転換」の学習がスムーズに実施できるものとなっている。

第2に、積極的に時代を読み取らせる話題や指示が多く、生徒の学習意欲を引き立たせる記述となっている。新しい学説を紹介し、歴史の見方が多様であることを理解させようとしていることも、重要な点である。また、前近代の女性史、近代の人権問題、戦争の歴史にも積極的に紙幅を割いており、社会科としての歴史学習が重視されている。

第3に、写真、表、史料などの選択と表示方法に工夫があり、生徒に読み取りやすくなっていることが挙げられる。各単元で主要な考察に出される資料は大きく、その他はコンパクトにと、はっきりと差異をつけてあるので、主題をはっきりと捉えさせ、ポイントを絞った学習方法を取らせやすい。また、写真・資料に添えられている多くの子どもの疑問点のイラストは、生徒の歴史的思考力を成長させるものになっている。

以上より、帝国書院の「社会科 中学生の歴史」を採択した。

中学校 教科書選定理由（社会・公民）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	公民	116-92	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 3 学年	社会・公民
-----	--------	-------

3. 教科書選定理由

本教科書と、教育出版「中学社会 公民 ともに生きる」、東京書籍「新しい社会 公民」、帝国書院「社会科 中学生の公民」を候補として比較検討し選考を行った。

本教科書を選択した理由は次の通りである。

- ・ 他社と比較して情報量が十分に多く、なおかつその表現や論理の組み立て方が専門的な知識をふまえより深い内容に接続しやすいものになっていること。
- ・ 資料の選択、グラフの配置等が的確で必要十分であること。特に専門書等で扱われた資料等が効果的に配置されていること。

専門的な理論を正確かつコンパクトに説明してあるなど、主体的・協働的で深い学びや、本校授業のめざす、概念的な知識や「見方・考え方」を活用できる力を育成する授業を行う場合に適した教科書であること。

中学校 教科書選定理由（地図）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地図	046 - 72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	社会・地理
-----	------------	-------

3. 教科書選定理由

下記のように比較検討した結果、帝国書院の教科書（地図）を採用する。

帝国書院「中学校社会科地図」

地図表記が詳細かつ適切である。

地域区分が適切であり、大都市圏や世界遺産の詳細な地図も充実している。

主題図の量や、そこに含まれる情報量が大きい。

東京書籍「新しい社会科地図」

地図表記が詳細かつ適切である。

地域区分が適切である。

主題図の量や、そこに含まれる情報量が他社に比べやや少ない。

中学校 教科書選定理由（数学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
11	学図	数学	011-72	中学校 数学 1
			011-82	中学校 数学 2
			011-92	中学校 数学 3

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第1・2・3学年	数学
-----	----------	----

3. 教科書選定理由

これからの教科教育においては、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの視点での資質・能力の育成が求められる。そこでは、何ができ、何が分かるようになるのかというだけでなく、どのように学ぶのかといった「学びの方法」についても焦点が当てられる。問題解決活動の中で、問題を見出したり、他者との相互作用によって自らの考え方を精緻化する活動、自らの学びをふり返りさらなる学びへとつなげていく学習場面が重要となる。基礎・基本の充実をしっかりと図り、数学的な見方・考え方を適切に働かせて自らが学びを深めていくような学習者の育成こそが教科教育に求められる。さらに、高等学校との接続も視野に入れ、自ら探究的に学びを深めていく能力の育成も重要である。また、PCやタブレットも利用しながら、生徒一人ひとりが自分のペースに合わせて学習を勧めることができるように、ICTに対応した内容であることが望ましい。

これらの点から、本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ・ 数学的な性質に注目し、丁寧な考察を経て結論を得る流れが適切であること。
- ・ 基本から応用まで、練習問題の分量・レベルが適切であること。
- ・ 自ら探究し発展させられるような題材が適切な分量・レベルで準備されていること。
- ・ 高等学校や他の分野とのつながりを持った発展的な題材が適切な分量・レベルで配置されていること。
- ・ 数学を学ぶ方法についてクローズアップしており、働かせる数学的な見方・考え方の確認や振り返りの場面が明確に位置付けてあること。
- ・ 話し合いの活動や、自分の意見を説明したりする場面が適切に位置付けてあること。
- ・ 章末の振り返りで自分の学習状況が自己評価できるとともに、QRコンテンツを利用して、自分の状況に合わせて、基礎から発展的な内容について学習できること。

中学校 教科書選定理由（理科）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	理科	061-72	未来へひろがるサイエンス 1
			061-82	未来へひろがるサイエンス 2
			061-92	未来へひろがるサイエンス 3

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	理科
-----	------------	----

3. 教科書選定理由

小学校および高等学校との学習内容の系統性を重視した構成となっている。単元（章）ごとに小学校の学習内容が「つながる学び」として示されており、生徒が既習の内容を想起したうえで中学校での学習に臨むことができるような構成となっている。また、高等学校の各科目に関連する発展的内容も「高校〇〇へ」という項目で丁寧に扱われており、小学校から中学校、そして高校へと系統的かつ学問的な広がりをもった学習が可能になっている。

基礎・基本が大切にされた丁寧な記述に加え、観察・実験の設定が豊富で記述も的確であり、生徒自身が記述を参考に観察・実験を行いやすく、また教員の安全指導も行いやすい。このことから、生徒が安全、確実に観察・実験を行い、科学的に思考し、判断し、表現することが容易な構成になっていると考える。また、観察・実験の重要事項や数値の処理方法など、実際に探究活動を行う際の要点は「サイエンス資料」としてまとめられており、整理・確認が行いやすくなっている。

新学習指導要領において重視される探究の過程については、教科書の冒頭において丁寧に説明されており、「課題の把握」「課題の追究」「課題の解決」の3つのステップで学習を進めるよう促されている。また、この3つのステップは単元（章）ごとにも示されており、学習の進行に伴って探究的な学習を進めることができる構成になっている。さらに、探究的な学習に主体的に取り組む活動として、単元ごとに「探Q実験」が設定されており、生徒が自身の学びを「探Qシート」によって振り返り、丁寧に探究活動に取り組めるような手立てが用意されている。

また、実社会・実生活との関連から、学習の有用性・科学の魅力を伝えることによって、科学を学ぶ有用性を感じ、学び続ける姿勢の育成が目指されており、学習と関連する話題が「部活ラボ」「お仕事ラボ」「お料理ラボ」「深めるラボ」など科学コラムとして扱われている。節の学習後には「活用してみよう」、単元末には「ひろがる世界」が設けられており、学習内容から身近な話題に思考をつないだり、学習内容を応用した身近な内容や将来期待される科学技術などを取り上げることによって、より学習が広がり深化することが意図されている。

本校では併設の高等学校がSSHに指定されており、全生徒が課題研究に取り組むカリキュラムとなっている。探究の過程に重点をおいた本書の構成は、高等学校での課題研究の取り組みの素地を作るものであると考える。

中学校 教科書選定理由（音楽）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音楽	017-72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1 学年	音楽
-----	--------	----

3. 教科書選定理由

育成すべき資質・能力の三つの柱に沿って構成されている。全体に、各教材ごとに学習内容が精選されている。具体的には、各教材（楽曲）を構成する音楽の要素（形式、構成、音色、リズム、強弱、テクスチュア、旋律、速度）に基づいて、重点的に学習すべき内容が精選され、それが〈学びのユニット〉として位置づけられている。学びのユニットは、学習を進展させ次の学びにつなげ深めることを意図している。

以下、歌唱、鑑賞、創作の項目別に、本教科書の特徴を挙げる。

〈歌唱〉

各教材で、関連して学習すべき内容が明記されている。新出の音楽用語は、わかりやすくレイアウトされている。

〈鑑賞〉

アジアの民族音楽では、多くの内容を盛り込まずに、声による表現に絞り、日本と他のアジアの国の音楽を比較している。また、日本の尺八音楽の項では、縦書きの楽譜の写真を大きく載せ、わかりやすい工夫がなされている。音楽の紹介文を書くコーナーでは、教科書にそのまま書き込む欄が設けてあり、使いやすい。

〈創作〉

導入の演習のような内容が載せてあり、生徒の思考をスムーズに促す工夫がなされている。

〈その他〉

楽典は、中1の教科書の曲に関連する最低限のものに絞ってあり、わかりやすい。

また、〈「音」ってなあに？〉の項では、音についての物理的な面からのわかりやすい説明がなされており、生徒の興味をひく内容になっている。

中学校 教科書選定理由（音楽）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音楽	017-83	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 2・3 学年	音楽
-----	----------	----

3. 教科書選定理由

育成すべき資質・能力の三つの柱に沿って構成されている。全体に、各教材ごとに学習内容が精選されている。具体的には、各教材（楽曲）を構成する音楽の要素（形式、構成、音色、リズム、強弱、テクスチュア、旋律、速度）に基づいて、重点的に学習すべき内容が精選され、それが<学びのユニット>として位置づけられている。学びのユニットは、学習を進展させ次の学びにつなげ深めることを意図している。

以下、歌唱、鑑賞、創作の項目別に、本教科書の特徴を挙げる。

<歌唱>

各教材で、関連して学習すべき内容が明記されている。新出の音楽用語は、わかりやすくレイアウトされている。曲想について工夫したい点を書き込むための欄も 1 ページとっており、充実している。

<鑑賞>

郷土の音楽や芸能では、多くの内容を盛り込まずに、踊りを伴うものに絞られている。また、日本の音楽として「越天楽」が取り上げられており、唱歌を伴う縦書きの楽譜が大きく示され、わかりやすい工夫がなされている。雅楽に用いられる楽器とオーケストラに用いられる楽器をポイントごとに比較させることも、音楽的思考を促す点で評価できる。

<創作>

ジャズの即興的要素が取り入れられており、生徒の興味をひく内容になっている。

<その他>

音楽著作権についての説明が丁寧になされている。

中学校 教科書選定理由（音楽）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	音楽	017-84	

中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 2・3 学年	音楽
-----	----------	----

3. 教科書選定理由

育成すべき資質・能力の三つの柱に沿って構成されている。全体に、各教材ごとに学習内容が精選されている。具体的には、各教材（楽曲）を構成する音楽の要素（形式、構成、音色、リズム、強弱、テクスチュア、旋律、速度）に基づいて、重点的に学習すべき内容が精選され、それが〈学びのユニット〉として位置づけられている。学びのユニットは、学習を進展させ次の学びにつなげ深めることを意図している。

以下、歌唱、鑑賞、創作の項目別に、本教科書の特徴を挙げる。

＜歌唱＞

各教材で、関連して学習すべき内容が明記されている。新出の音楽用語は、わかりやすくレイアウトされている。英語の歌では、対訳が添えてありわかりやすい。

＜鑑賞＞

オペラでは、登場人物の関係図をわかりやすくイラストで説明してある。オペラと歌舞伎を、ポイントごとに比較して記述する欄が設けられているのが良い。

＜創作＞

「CMソングをつくろう」という題材は、生徒の興味をひく工夫がなされている。

＜その他＞

音楽史について、西洋音楽史と日本の音楽史を合わせて年表にまとめているのがわかりやすい。コンピュータと音楽や、アウトリーチ、音楽療法についても説明しており、生徒たちの視野を広げるものとして興味深い。

中学校 教科書選定理由（音楽）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	器楽	017-72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	音楽
-----	------------	----

3. 教科書選定理由

育成すべき資質・能力の三つの柱に沿って構成されている。全体に、各教材ごとに学習内容が精選されている。具体的には、各教材（楽曲）を構成する音楽学習の段階に沿って、基礎技術の習得→アンサンブル活動への発展というように、生徒たちの興味関心を削がないで上手く結びつけられている。

以下、リコーダー、ギター、日本の伝統楽器というカテゴリー別に、本教科書の特徴を挙げる。

<リコーダー>

各部の名称から始まり、段階的に無理なく課題が組み立てられており、授業において扱いやすくなっている。習得した基礎技術は、興味関心を高められるように魅力的なアンサンブル曲に向けて直ぐに演奏を試すことで出来るようになっている。新出の音楽用語は、わかりやすくレイアウトされている。

<ギター>

姿勢と構え方など、基礎的な事項から分かりやすく解説が為され、チューニングの方法の習得でき、簡単なコード奏法もチャレンジしやすくなっている。また、実生活で活用場面が多い「タブ譜」についての解説も充実している。

<日本の伝統楽器>

具体的には、篠笛・尺八・箏・三味線・太鼓が扱われており、我が国の伝統文化としての音楽にも親しみやすく導入できるような工夫がされている。この学習は、日本の伝統芸能の鑑賞（雅楽・能楽・文楽・歌舞伎）を行う際にも、扱いやすい配列となっている。

<その他>

分かりやすいコード表と基礎的な楽典も巻末に分かりやすくまとめられており、わかりやすい。

また、名曲旋律集は、鑑賞と絡めながら授業を組み立てられるように工夫がなされており、扱いやすい。他にも、様々な楽器の演奏の様子が写真で閲覧できるようになっている。

中学校 教科書選定理由（美術）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美術	116-72	美術1 美術との出会い
			116-83	美術2・3上 学びの実感と深まり
			116-84	美術2・3下 学びの探求と未来

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	美術
-----	------------	----

3. 教科書選定理由

採択の候補となるのは、日本文教出版（日文）、光村図書（光村）、開隆堂の3社である。各社とも共同制作や他者と関わりながら進める活動を取り上げており、自然と対話が行われる題材が掲載されている。「造形的な視点」も重視されており、掲載作品から感じたこと、気付いたことを意識させる工夫がなされている。鑑賞作品に関しては3社とも原寸サイズでの作品を掲載しており迫力がある。

前回の改訂以降、各社 QR コードを掲載し、インターネットを活用することで用具の安全な使い方の動画や立体作品を周囲から見られるような工夫がされているが、以前の改訂よりも解説動画が充実している印象である。また、作品だけでなく美術館へリンクしているなど各社とも工夫がみられる。

第1学年においては、色彩に関する学習が重要である。3社とも巻末に色彩に関するページを配している。この色相環のページを開いておくことで他の題材を学習する際、色彩学習の視点を生かせるという方式は大変便利である。

光村は「みんなの工夫」というコーナーにて、題材毎に生徒の制作過程が順を追って示されている。また、1つの題材で表現と鑑賞を一体的に学べる構成となっており、相互の関係が意識されている。開隆堂は、「絵や彫刻で学ぶこと」「デザインや工芸で学ぶこと」など学習のねらいがわかりやすく示されている。印象派においてはゴッホやルノワールの作品をメインにセザンヌやシニャックの作品を掲載し、多様な比較鑑賞が可能な工夫もなされている。日文のページ構成は原寸、生徒作品、見開きなど強調・強弱など変化があり原寸大の土器は息を呑む迫力である。

制作手順や技法について本校では別途副読本を使用しているということもあり総合的に判断した場合、本校にとっては日文の教科書が最適であると考えた。

中学校 教科書選定理由（保健体育）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	保体	050-72	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	保健体育
-----	------------	------

3. 教科書選定理由

- ・学習指導要領に示された内容がバランスよく配当されている。
 - ・「つかむ」「身につける」「まとめる・振り返る」で各章が構成されており、学習の流れが分かりやすく、学習の見通しが立てやすいので、主体的な学習が進められる。また、教員がスムーズに指導することにも効果的である。
 - ・章のまとめでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に分けて問題を用意し、評価につなげられる構成になっている。
 - ・写真や図などが効果的に多く掲載されている。
特に、社会の急速な変化に対応し深く学べるよう、学びを生活や社会につなげる口絵や、さまざまな現代的課題に対応した豊富な特集資料があり、学習の深まりが期待できる。
 - ・「がん教育」「防災教育」「スマートフォンと健康・安全」「性犯罪・性暴力」「SDGs」も発展的特集資料等を掲載し、主体的な学びに繋がられるよう工夫がなされている。
- 以上の点を含め、総合的に判断して採択した。

中学校 教科書選定理由（技術・家庭 技術分野）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	技術	002-72	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	技術・家庭（技術分野）
-----	------------	-------------

3. 教科書選定理由

<p>（ア）知識及び技能の習得 編の導入、基本ページ、学習のまとめの構成で授業の流れが見えるように整理されている。図や写真が多く載せられており、知識・技能の習得の手助けとなっている。</p> <p>（イ）思考力、判断力、表現力等の育成 「考えてみよう」や「話し合ってみよう」が節ごとにある。 「学習のまとめ」には、用語など知識の確認だけでなく、考えを深める問いも用意されている。</p> <p>（ウ）主体的に学習に取り組む工夫 技術の見方・考え方のストーリーが示されており、思考ツールの活用について紹介されている。問題の発見場面についての記載がある。</p> <p>（エ）内容の構成・配列・分量 豊富な問題解決例があり、学習環境に応じた学習展開が可能となっている。 「技術の匠」では各学習項目について高いスキルを持った職人を紹介している。</p> <p>（オ）内容の表現・表記 学習への意欲を引き出すための特集ページが豊富である。 未来について考えるための新しい技術の資料が充実している。</p> <p>総合評価 編の導入、基本ページ、学習のまとめの構成が整理されており授業の流れがわかりやすい。 「技術の匠」や未来について考えるための新しい技術の資料などが豊富にあるため、日常生活と技術科での学習を結びつけやすい。</p>
--

中学校 教科書選定理由（技術・家庭 家庭分野）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	家庭	002-72	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	技術・家庭（家庭分野）
-----	------------	-------------

3. 教科書選定理由

候補にあがった他の教科書（教育図書、開隆堂）と比較・検討し、以下の点において適当と判断し、本教科書に採択する。

（1）知識及び技能の習得

本文の内容について、科学的な根拠に基づいた資料が提示されている。また、個別最適な学び、協働的な学びに対応できる QR コンテンツの充実により、技能を確実に習得できるよう工夫されているため、生徒の資質・能力向上を期待することができる。

（2）思考力・判断力・表現力等の育成

家庭分野における問題解決的な流れが具体例とともに示されており、問題解決のプロセスに沿って実践できるよう工夫されている。また、問題発見・課題設定のヒントとなるような記述が散りばめられており、生徒の意欲を高める効果が期待できる。

（3）主体的に学習に取り組む工夫

「なぜ」「どうして」を引き出し、何のために学ぶのかの本質を理解した上で学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、学びを振り返ることによって自己調整力を高める機会となり、よりよい生活を創造することができるような工夫がされおり、学力保障が期待できる。

（4）内容の構成・配列・分量

各編が同様の構成で統一されており、学習内容を一度に見渡せる構成となっている。また、衣食住の生活の内容が、前半部分に位置付けられており、生徒の興味・関心を高める構成として期待することができる。

（5）内容の表現・表記

可読性を高めるため、ユニバーサルデザインフォントを使用しており、カラーユニバーサルデザインの観点にも配慮されている。また、右利き、左利きへの対応等もあり、誰もが使用しやすい教科書として期待できる。

中学校 教科書選定理由（英語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
17	教出	英語	017-72	ONE WORLD English Course 1
			017-82	ONE WORLD English Course 2

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

中学校	第 1・2 学年	英語
-----	----------	----

3. 教科書選定理由

本校の生徒や教育実習指導に照らした、英文の適切さ、言語活動への応用のしやすさ、誌面構成を考慮して3候補（教育出版 ONE WORLD、啓林館 BLUE SKY、光村図書 Here We Go!）に絞り、その中から ONE WORLD に決定した。

1. 英文の適切さ

本文については、登場人物がさまざまな経験をしながら成長する様子が、3年間を通して一貫した物語となっており、意味のある文脈の中で新しい言葉を学ぶことができる。キャリアについて考えていく題材など生徒の進路上の課題も自然に物語に取り入れられていて、中学生にとって身近な現実世界との接点が保たれている。このことは、コミュニケーションの目的・場面・状況を意識した言語活動という現行の学習指導要領で特に要請されている点にまさに対応しており、新課程での英語指導を進めるのにふさわしいと判断した。

小学校との接続も意識されており、現実味のある場面で、生徒が実際に使えそうな英表現に多く触れることができる。また、場面が実際的であるために、定型的な応答を超えてディスコースを構成するやり取りも多く、より高度な言語使用を導くことができる。

2. 言語活動への応用のしやすさ

ディベートを扱った題材が中学校3年の中にあるなど、言語活動のバリエーションのバランスが優れていることや、英文の分量があることで、本文を中心とした指導を教員が展開しやすいと考えられる。また、掲載されているタスクの条件設定が細かすぎず、指導者の裁量によって扱いやすいものとなっている。

3. 誌面構成

写真やイラストといった英文以外のものが占める割合が少なく、指導の中心を英文という本来のポイントに置きやすいという利点が見られた。また、各 Part の軽重の差があまりなく、バランスが良い。

中学校 教科書選定理由（英語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
38	光村	英語	038-92	

2. 教科書を使用する学年、教科・科目

中学校	第 3 学年	英語
-----	--------	----

3. 教科書選定理由

扱われている題材や英文難易度の適切性を考慮して3候補（三省堂 NEW CROWN、開隆堂 SUNSHINE、光村図書 Here We Go!）に絞り、その中から Here We Go! に決定した。

1. 題材・英文の適切さ

本文については、登場人物がさまざまな経験をしながら成長する様子が、3年間を通して一貫した物語となっており、意味のある文脈の中で新しい言葉を学ぶことができる。防災など生活上の課題も自然に物語に取り入れられていて、現実世界との接点が保たれている。このことは、コミュニケーションの目的・場面・状況を意識した言語活動という現行の学習指導要領で特に要請されている点にまさに対応しており、英語指導を進めるのにふさわしいと判断した。

小学校との接続も意識されており、現実味のある場面で、生徒が実際に使えそうな英語表現に多く触れることができる。また、場面が実際的であるために、定型的な応答を超えてディスコースを構成するやり取りも多く、より高度な言語使用を導くことができる。

2. 誌面構成の適切さなど

課の冒頭に絵や写真だけを見て英語を聞き取るページがあり、音声を主体とした英語学習が促される。本文部分は、基本的に左ページに英文、右ページに活動と区分けが明確なシンプルな構成になっているので、1冊の本としてリズムが保たれている。また、授業展開に応じて柔軟に活用する余地もある。イラストについては、単なる挿絵ではなく、登場人物の表情が豊かで、1枚の絵であってもストーリーが感じられる。巻末にイラストを活用した **Story Retelling** というコーナーが設けられているのは、優れたイラストを活用する適切な方法であり、ここから活動を発展させる余地もある。

また、帯活動用の教材が本冊に組み込まれているので、継続的な言語活動を実施するのが容易である。各課の言語活動も工夫されており、単なるドリルで終わらない言語活動を仕組むことができるようになっている。

色使いが全体的に淡く、視覚に優しいのも好ましい。

中学校 教科書選定理由（「特別の教科 道徳」）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	道徳	002-72	新編 新しい道徳 1
			002-82	新編 新しい道徳 2
			002-92	新編 新しい道徳 3

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

中学校	第 1・2・3 学年	特別の教科 道徳
-----	------------	----------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や学校生活などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

（1）教科の基礎・基本

各学年で22の内容項目全てををれなく扱い、重点項目は複数時間をかけて学習できるよう構成されている。さまざまな題材の教材が用意されており、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を育めるよう配慮してある。特に、「いじめ」や「いのち」などの大切な項目はユニットを組むことで、集中して学習に取り組めるよう配慮されている。

（2）主体的な学習

全教材の冒頭にテーマを設定し、導入で問題を提起してから教材に入るという流れになっている。また、1～2コマの漫画を伴う教材では、導入の問題提起のための話し合い活動がより活発になるように設定されている。2時間扱いの問題解決的な学習を配置し、問題提起から解決を図る流れの中で、道徳的価値について考えることができるよう工夫されている。「プラス」として教材で学習した内容を広げるコラムを読んで考えを深めたり、体験的な学習（役割演技）ができたりするよう工夫されている。

（3）内容の選択・構成・分量

各学年の教科書が、オリエンテーション、本編、付録の3つで構成されている。オリエンテーションで基本的な流れを学習し、本編にスムーズに入れるよう配慮してある。また、付録で補充を図ることができるよう複数の教材が収録されている。さらに、さまざまな題材の教材を用意することで、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を育めるように配慮してある。

（4）表現・表記

中学生にとって難しい表現は避けて、なるべく分かりやすい表現が用いられている。また、各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるよう配慮してある。